

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (892), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価項目, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (893), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for Heisei 30, Heisei 31, and Reiwa 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	895	課コード	0902	会計種別	公営企業会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 施設の耐震化と水運用機能の強化	個別事業 経年劣化水道管路の更新改良・耐震化	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	水道局・工務課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		1.41人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 524,678千円 (うち人件費 12,408千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	我孫子市水道事業基本計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。			事業目的	経年劣化が進んでいる水道管路施設の計画的な更新を実施することにより耐震性に優れた水道管路網を構築し、更に安心・安全で安定した水供給が可能となる強固な水道施設運用を確立する。					
(3) 事業内容	内容	経年劣化管路(配水管)を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。管路耐震化及び老朽管更新にあたっては「水道管路網総合評価(耐震・重要度)」で学術的に評価した管網解析を基礎データとした「我孫子市水道管路耐震化計画(平成27年3月策定)」を踏まえ、現状の課題(更新継続・漏水調査・老朽塩ビ管・鉛製給水管・管網見直し)を総括し将来の方向性を定めた「我孫子市水道事業基本計画(平成31年3月策定)」に基づき計画する。			当該年度執行計画	経年劣化管路(配水管)の更新・改良工事を「我孫子市水道事業基本計画(平成31年3月策定)」に基づき実施する。 ①根戸 ②船戸 ③白山 ④つくし野 ⑤他事業関連 全10工区 施工総延長 L=5,473m					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	実績値	目標値		
当該年度	経年劣化管路(配水管)を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。				直接	経年劣化管路・更新布設替延長距離(m)	m	2,547	5,473		
令和2年度	経年劣化管路(配水管)を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。				直接	経年劣化管路・更新布設替延長距離(m)	m		5,000		
令和3年度	経年劣化管路(配水管)を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。				直接	経年劣化管路・更新布設替延長距離(m)	m		5,000		
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		経年劣化管布設替工事(L=2,547m)	203,828	経年配水管更新・耐震化工事	486,200	435,251	経年配水管更新・耐震化工事			経年配水管更新・耐震化工事	
		経年劣化管更新工事実施設計業務委託(L)	43,092	水道管路工事実施設計業務委託	26,070	11,176	水道管路工事実施設計業務委託			水道管路工事実施設計業務委託	
		合計	246,920	合計	512,270	446,427	合計	0	合計	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 44.1%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		246,920		512,270		249,727		0		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		1.41		1.41		1.41		1.41		
	正職員人件費		12,408		12,408		12,408		12,408		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		259,328		524,678		458,835		12,408		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			101.82千円/m		95.87千円/m		86.04				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	ライフラインとして重要である水道管路施設は、法的及び学術的指針による更新時期(布設後30~40年程度経過)を迎える管路が年々増加し老朽化しており、大規模漏水など甚大な事故発生も懸念されることから、計画的かつ早急に更新を行うことが急務であるとともに更新実施時点で最も耐震性に優れた管材を使用することにより、地震に強い水道管路網を構築することが出来る。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 概ね計画どおりの施行であった。				○要 ●不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □市が主導で進めなければ実効性がなかった □市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □サービスの水準が確保された □サービスの安定供給が確保された □その他				○要 ●不要		
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<その他の内容>						
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				<その他の内容> 該当なし。					○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ●不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				取組む内容				実施した具体的な内容	環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他				工事で発生する廃材(土砂・路盤材・アスファルト合材)の再生資源化及び再利用を進めている。				全ての工事で「建設リサイクル法」「資材有効利用促進法」等の諸法令に基づき、現場から発生する廃材(土砂・路盤材・アスファルト合材)を再生資源化及び再利用する設計積算を行い、その適正な運用(計画・実施)を請負業者に指導監督した。	●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>	○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(m)	目標値(b)(m)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成			
	2,547	5,473	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である				実績値(f)(m)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 概ね計画どおりの施行であった。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策				実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法				達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	1.04		単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 概ね計画どおりの施行であったが、予算時と発注時の単価の差異や入札差金等により事業費が削減され、目標値以上となった。			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				
	水の安定供給には経年劣化管路の計画的な更新(布設替え)が必要であることから事業の優先度は高く現状どおり推進していく。									

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (899), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (904), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (906), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (907), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and comments.

Final summary table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (912), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and comments.

Final summary table with columns for evaluation comments and improvement directions.



事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1821	課コード	0902	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	浄水場施設の維持管理業務		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	水道局・工務課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.56人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	75,621千円 (うち人件費 4,928千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	我孫子市水道事業基本計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。			事業目的	浄水場施設の適切な維持管理を行い安全な水を安定的に供給する。								
(3) 事業内容	内容	浄水場施設の保守点検及び修繕等の維持管理を行う。 1. 設備の保守点検 2. 水槽及び施設の清掃等維持管理 3. 設備の修繕			当該年度執行計画	・浄水場機械整備(通年)・高圧盤清掃(10.12.2月)・着水井清掃(奇数月)・洗浄排水槽清掃(9.3月)・湖北台浄水場外周U字溝清掃(偶数月)・除草作業(6.8.2月)・浄水場清掃(8.2月)・植木剪定(10月)・自家用電気工作物保安管理(隔月)・非常用発電機賃借(通年)・浄水場施設修繕(通年)・No.4ろ過原水ポンプ整備(8~12月)・白山末端圧力局圧力伝送器移設(4~6月)・9号取水井浚渫(5~7月)・11号取水井浚渫(11~2月)・水質監視装置保守(6.9.12.3月)・活性炭再生及び交換(5月)・妻子原浄水場受変電保守(9月)・消防設備保守(9.3月)・無線電話保守(7.1月)								
		当該年度活動結果指標	浄水場維持管理業務終了件数	単位	件	想定値	20		実績値	21				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	浄水場施設の適正な維持管理				直接	浄水場無事故割合 ( (浄水場数-浄水場停止事故件数) / 浄水場数 )		%	100	100				
令和2年度	浄水場施設の適正な維持管理				直接	浄水場無事故割合 ( (浄水場数-浄水場停止事故件数) / 浄水場数 )		%		100				
令和3年度	浄水場施設の適正な維持管理				直接	浄水場無事故割合 ( (浄水場数-浄水場停止事故件数) / 浄水場数 )		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	多種多業種にわたる業務について、それぞれの関係法令を遵守し、浄水場機能に支障をきたすことなく効率的に業務を実施することが必要となる。				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度			平成31年度			令和2年度			令和3年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			浄水場機械整備業務	2,758		浄水場機械整備	2,355	2,355		浄水場設備維持管理業務			浄水場設備維持管理業務	
			浄水場電気保安業務及び高圧盤清掃	2,216		高圧盤清掃	281	187						
			湖北台浄水場着水井清掃業務	2,204		着水井清掃	2,224	1,433						
			湖北台浄水場洗浄排水槽清掃業務	400		洗浄排水槽清掃	731	547						
			湖北台浄水場U字溝清掃	117		湖北台浄水場外周U字溝清掃	118	118						
			高度浄水処理施設適正運転検証業務	4,428		除草作業	575	577						
			非常用発電機賃借料	1,206		浄水場清掃	676	643						
			浄水場施設修繕	5,400		植木剪定	3,322	3,157						
	No.3ろ過原水ポンプ整備	7,344		自家用電気工作物保安管理	1,977	1,959								
	取水井電力引き込み線交換修繕	839		非常用発電機賃借	1,217	1,217								
	湖北台5号配水ポンプ盤コンデンサ交換	1,415		浄水場施設修繕 追:8号取水井浚渫	7,700	10,226								
	水質監視装置保守及び部品交換	3,240		No.4ろ過原水ポンプ整備	7,480	7,480								
	高度処理活性炭ろ過機保守	12,744		白山末端圧力局圧力伝送器移設	1,458	1,257								
	湖北台浄水場受変電設備保守	4,536		9号取水井浚渫	6,449	4,688								
	高度浄水処理施設配電盤保守	2,700		11号取水井浚渫	7,711	6,134								
	高度浄水処理施設ろ過水流量計保守	972		水質監視装置保守	1,890	1,650								
	水道事業用無線電話保守	233		活性炭再生及び交換	16,649	15,714								
	3浄水場植木剪定業務	2,992		妻子原浄水場受変電保守	7,370	7,040								
	浄水場敷地内除草・管理棟清掃業務	1,225		消防設備保守	272	260								
	3浄水場消防設備保守	270		無線電話保守	238	229								
	予算(決算)額	合計		57,239	合計	70,693	66,871	合計	0	合計	0			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%		
	一般財源			57,239			70,693	66,871						
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他			
(10) 人件費等	換算人数(人)			0.56			0.56			0.56				
	正職員人件費			4,928			4,928			4,928				
	嘱託職員報酬額			0			0			0				
	臨時職員賃金額			0			0			0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			62,167			75,621	71,799			4,928	4,928			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			2,960.33千円/件			3,781.05千円/件			3,419					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民の日常生活に欠くことのできない安全な水を安定的に供給するための必須となる事業である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 安全な水を安定的に供給するためには既存設備の適正な維持管理が必要のため				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 水道法で水道施設の維持管理は地方公共団体の責務となっているため	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手質沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 計画どおり事業を行ったため		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 ■④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	75,621	△13,454	<削減の内容>		71,799	94.95	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		△21.64							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.13	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		%	10万円		0.14	107.69			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					
	安全で安心な水を供給していくために施設の保守・修繕等の維持管理は必要不可欠である									

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2037), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2140	課コード	0902	会計種別	公営企業会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	水道局・工務課						
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.66人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	5,808千円 (うち人件費 5,808千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市水道事業基本計画				
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。			事業目的	将来にわたり安定して供給できる水道								
(3) 事業内容	内容	安定した水源の確保を行い、安全な水を安定的に供給する。			当該年度執行計画	取受水計画の策定(11月) 北千葉受水量申し込み(9月) 取水量、受水量、配水量及び末端圧力等浄水場の運転状況を管理する。(通年)								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	安定した水源の確保				直接	水源余裕率 (確保している水源水量/一日最大配水量) - 1) × 100 (水道事業ガイドラインに基づく業務指標 1002)	%	35	35					
令和2年度	安定した水源の確保				直接	水源余裕率 (確保している水源水量/一日最大配水量) - 1) × 100 (水道事業ガイドラインに基づく業務指標 1002)	%		35					
令和3年度	安定した水源の確保				直接	水源余裕率 (確保している水源水量/一日最大配水量) - 1) × 100 (水道事業ガイドラインに基づく業務指標 1002)	%		45					
(7) 事業実施上の課題と対応	渇水時にも安定して水を供給するための水源確保が必要となる。また、取水量と受水量は費用面及び運用面の双方から最も効率の良い比率を検討する必要がある。			代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			取・受・配水の計画及び管理	0		取・受・配水の計画及び管理	0	0		取・受・配水の計画及び管理	0		取・受・配水の計画及び管理	0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	0	合計	0	合計	0			
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0					
一般財源		0		0	0		0		0					
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0					
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.66	換算人数(人)	0.66	0.66	換算人数(人)	0.66	換算人数(人)	0.66					
	正職員人件費	5,808	正職員人件費	5,808	5,808	正職員人件費	5,808	正職員人件費	5,808					
	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0					
	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0					
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,808	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,808	5,808	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,808	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,808					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	15.91千円/日		15.87千円/日		15.87									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民の日常生活に欠くことのできない水を安定的に供給することは水道事業者において必須のものである。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 安定した水の供給は市民の生活に欠かせないため								
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が主導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 水の適正かつ合理的な使用に、必要な対策を講じることが地方公共団体の責務となっているため		○要 ●不要
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	35	35	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 確保している水源に変化がなく、一日最大配水量が想定どおりであったため		
					実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	事業費の削減対策について		
	5,808	0	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		5,808	100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.6		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	適正な取水・受水・配水管理は、水の安定供給に欠かせないことから現状どおり推進していく									